

台湾における糖尿病に対するP4Pプログラム

-A Pay-For-Performance program for diabetes in Taiwan-

Shou-Hsia Cheng Professor of Nat'l Taiwan Univ., Taiwan



1. Pay-For-Performanceプログラムの導入背景

Pay-For-Performance (P4P) プログラムは医療の質を評価してその結果によって医療供給者に決まったインセンティブを提供する制度で医療の過程及び結果を評価して全体的な医療の質を評価しようとする制度である。このようなP4P プログラムは医療の費用を適切に統制しながら医療の水準を高めるために多くの国で導入しているが、その結果に対しては論難がある状況である。しかし大部分の P4P プログラムに関する研究が、アメリカでの結果に対するものでアメリカでは財政的なインセンティブの水準があまり高くなくて臨床医の大きい参加を得ることができなかった。そのような低い参加率を勘案すれば、P4P プログラムの結果に対して否定的にだけみることはできない。台湾では 1995年から全国民医療保険が実施されて 99%以上の国民がその恩恵を受けている。支払い方法においては、総額契約制と行為別報酬など多くの制度を維持している。

P4P プログラムは 2001年から部分的に導入しており、現在は糖尿、結核、乳房がん、子宮頸がん、喘息、慢性肝炎、高血圧などの疾患に取り入れている。疾病別プログラム参加率をよく見れば、結核が 90%で一番高く、乳房がんや高血圧などの疾病は少し低い参加率になっている。

2. 台湾での糖尿病に対する P4P

台湾では糖尿は代表的な慢成疾患で、2008年現在 5番目の死亡原因で疾病費用は 15億ドルになっている。しかし最近の研究では糖尿患者に対する医療及び管理が充分でないことがわかってきた。したがって糖尿に対する P4P プログラムは医療機関外来再訪問率が増加した場合、インセンティブを支給する制度である。すなわち、外来訪問を通じて医師などの医療供給者が患者自ら疾病を管理するように患者に対して教育を実施して、糖尿及び余病に係わる身体検査を実施するようになる。

P4P プログラムの対象医療機関は専門医が属した病院であり、糖尿患者がそういう病院を訪問時に専門医が患者をプログラムに参加させるようにすることで方式が成り立つ。政府は糖尿関連医療利用に対して行為別報酬制を実施して再訪問率が高い場合、インセンティブを支給する。以外にもプログラム初期参加時、再訪問時、毎年再訪問時ごと、指定された検査項目を実施した場合にもインセンティブを支給している。この制度実施以後、必須的である検査実施率及び再訪問率が増加し、これによって糖尿による入院率が減少し、結果的に全体の医療利用費用が減少した。しかしこのような費用減少の幅が毎年減少する様相を見せている。これは既存の P4P プログラムを実施した他国でも共通的に現われる問題点であり、後日 P4P プログラム実施による費用/効果分析及び医療の質及び費用に対する長期的な分析が必要と考えられる。

3. P4P プログラムの今後の目標

P4Pプログラムの今後の目標は、患者のプログラム参加をより高め、評価項目を医療利用の過程評価から結果評価に徐々に変化させて行くことである。また医療評価結果を通じて各病院のベンチマーキングをはかるための点数体系の開発も必要である。

*原稿整理：金頃民主任補研究員審査評価政策研究所審査評価研究室

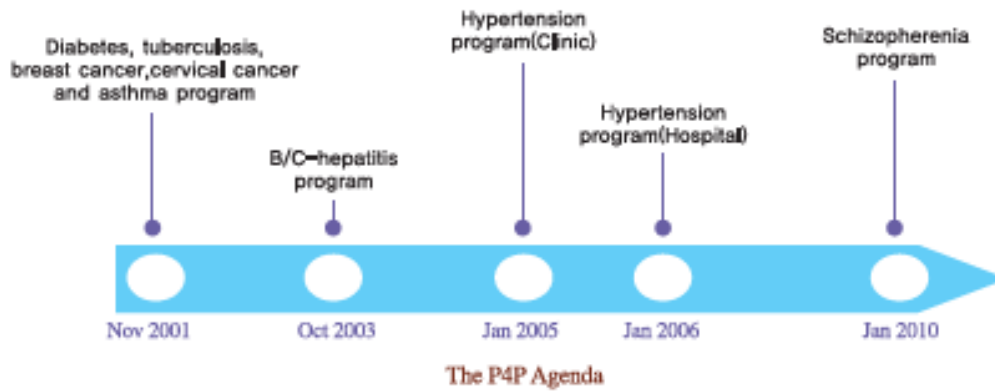


그림 1. 대만에서 P4P 프로그램을 도입한 질병들

図1 台湾におけるP4Pプログラムを導入した疾病

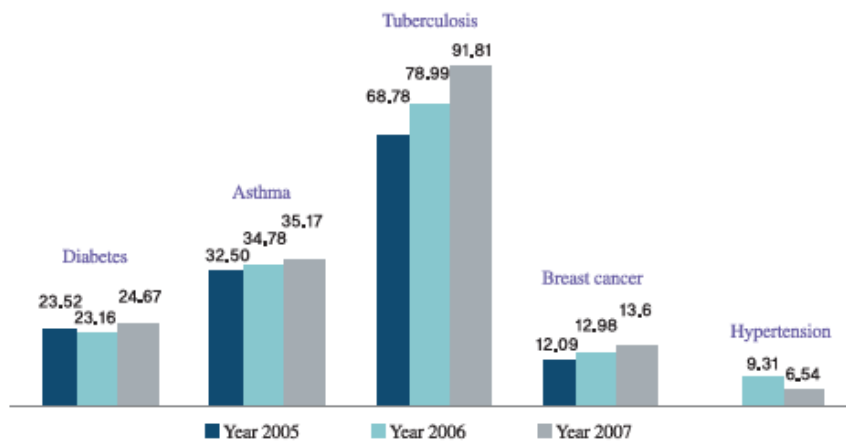


그림 2. 대만에서 질병별 P4P 프로그램 참여율 (2005-2007년)

図2 台湾における疾病別P4Pプログラム参加率 (2005-2007年)